

2019年7月1日

報道関係者各位

「IT資産簡易アセスメント」提供開始について

AGS株式会社（本社：さいたま市浦和区、代表取締役社長：原 俊樹、以下当社）は、長年データセンター運営で蓄積したノウハウを最大限活かし、お客様の社内に設置されているIT機器設置状況について、安全性を診断し、内在する課題の報告から問題提起まで行うサービス「IT資産簡易アセスメント」の提供を2019年7月より提供開始することとなりましたのでお知らせ致します。

1. サービス提供の背景

事業を継続するためにはIT機器設置状況の現状分析を行い、安全性を確認、災害発生時のリスクに備えておくことが必要となります。

その解決策として当社は、IT資産簡易アセスメントでお客様に現在の状況をお伝えするとともに問題提起まで行う、本サービスの提供を開始することと致しました。

2. サービス内容

IT機器設置状況について、立地、建物構造・IT機器設置場所、避雷設備、電源設備、空調設備の5つの項目に対し、調査を実施致します。

調査を行う要員は、データセンターのファシリティについての知識を有することを証明するCDCP（Certified Data Center Professional）認定資格を有した社員が行い、内在する課題を整理可視化、事業継続に対する影響度を診断し、調査実施後に診断結果を報告書で提出、必要により説明会を開催致します。また、本簡易診断は無償でご提供いたします。

【サービス提供の流れ】



【報告書イメージ】

3. 診断結果のご報告<立地(地震)>

4. 総合判定

①立地	②建物・IT機器	③雷	④電源	⑤空調
<input type="checkbox"/> 立地が河川から約5kmあり、津波・高波、洪水、塩害等の影響が少ない地域に建設されています。また、近隣の河川からの離隔は、最も近い一級河川から約5kmあり、この一級河川が海抜6mの高さに有るのに対して、弊社建物は高さが13mの高さに建設されており、河川洪水の影響が少な地域であります。	<input type="checkbox"/> 構造耐力が不足している	<input type="checkbox"/> 避雷針の設置	<input type="checkbox"/> UPS機等の設置	<input type="checkbox"/> 定期的な点検

5. 対策案のご紹介<立地(地震・水害)>

【地震対策】
地震による最大な被害が発生しやすい地域を避けて建設されていること、また、建物が立地されている区域は、自治体による現状化予測において、現状化発生影響度が低い地域、岩盤に打ち、地下40m
-活断層(綾瀬川断層)からの離隔 約10m
-自治体による現状化影響度の低い地域、岩盤に打ち、地下40m
地震による最大な被害が発生しやすい地域を避けて建設しております。弊社データセンター建物と活断層からの離隔については、「地震調査研究推進本部の主要活断層マップ」により、約10kmの地域で有ることを確認しております
活断層上部ではないため、震下型地震(縦揺れ)のような被害リスクは低いと考えられます。

【水害対策】
-最接近岸部からの離隔 約30m
-一級河川(海抜6m)からの離隔 約5km、高台設置(海抜13m)
津波、高波、洪水、塩害等の影響が少ない地域に建設されております。海岸からの離隔は、最接近岸部である東京湾から約30kmあります。
また、近隣の河川からの離隔は、最も近い一級河川から約5kmあります。この一級河川が海抜6mの高さに有るのに対して、弊社建物は高さが13mの高さに建設されており、河川洪水の影響が少な地域であります。
「さいたま市洪水ハザードマップ」では、浸水リスクが低い場所に該当し、浸水リスクも低い立地に建設されております。

【AGSの概要】

名 称	AGS株式会社（東証一部 証券コード:3648）
代 表 者	代表取締役社長 原 俊樹
所 在 地	埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷 4-3-25
設 立	1971年7月
資 本 金	1,431百万円
主な事業	情報処理サービス、ソフトウェア開発、 その他情報サービス、システム機器販売
U R L	https://www.ags.co.jp/

【本リリースに関するお問い合わせ先】

AGS株式会社 企画部 （担当：菊岡、橋本）

TEL. 048-825-6079

FAX. 048-825-6959

E-mail. ir.ml@ags.co.jp

※本リリースに掲載されている商品・サービスの価格、仕様、その他の情報は、発表時点の情報です。その後予告なしに変更となる場合があります。

以上